

# 広報 しんち

231号

2/9

8月1日現在  
( )内は前月比

↑	2,093世帯 (+8)
↑	男 4,325人 (+13)
↑	女 4,557人 (+5)
↑	合計 8,882人 (+18)



ふくらむ町づくりへの期待

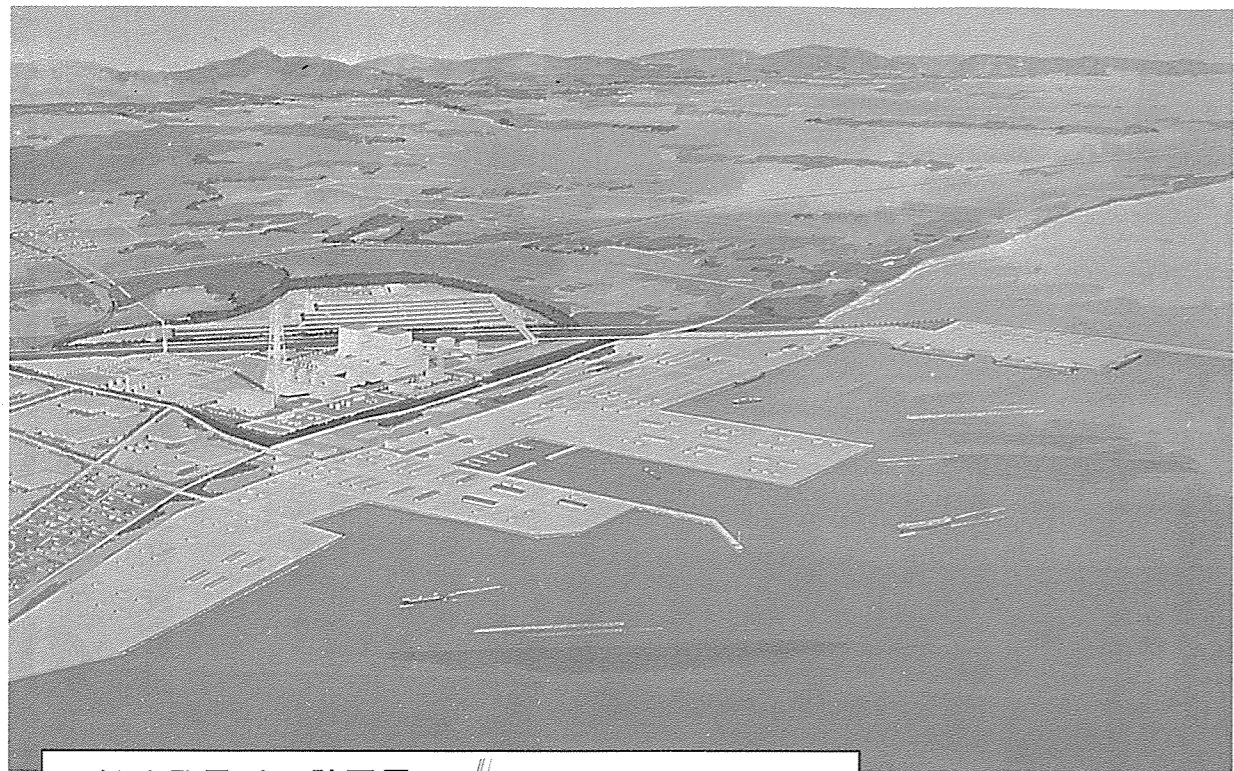
## 新地発電所1号機 建設がスタート

相馬地域総合開発計画の中核施設として、また、町づくりの要として、長年待ち望んできた相馬共同火力発電株式会社・新地発電所の建設工事が、先月二日から始まりました。

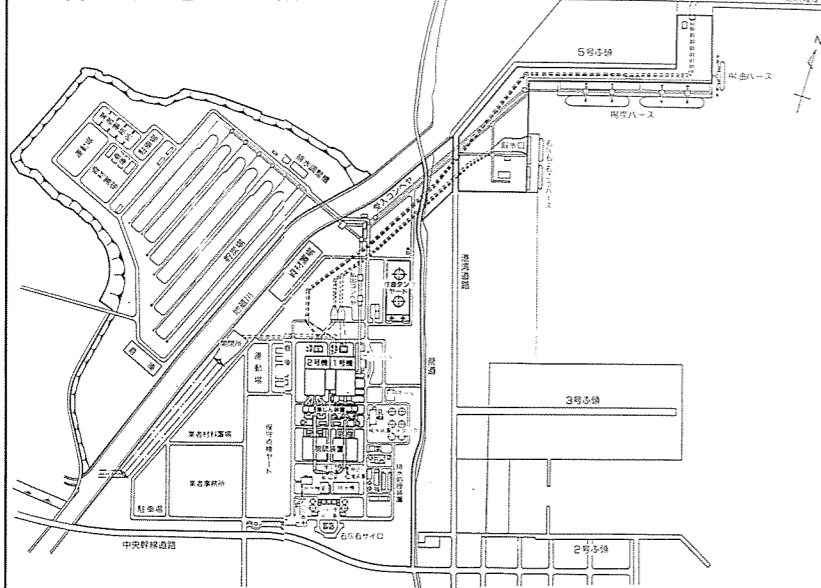
新地発電所は、電源開発と工業開発を一体的に行う電源地帯工業団地の核となるもので、国内最大級の百万キロワット二基が計画されています。今回着工したのは、そのうちの1号機で、平成六年七月の運転開始をめざし工事が進められます。

新地発電所の着工で、相馬地域総合開発計画は、相馬港の整備、国道113号線バイパス工事などの関連公共事業をはじめ、中核工業団地への企業誘致も一挙に本格化することになります。(2〜3ページもご覧ください。)

写真は、起工式終了後開かれた祝賀会で、祝辞を述べる荒町長。



● 新地発電所の計画図 ●



### 1号機は、六年七月運転開始

新地町と相馬市にまたがる中核工業団地東地区の新地町側に建設される新地発電所は、敷地面積が

百七十ヘクタール。石炭専焼、出力百万キロワット二基の火力発電所です。今回着工した1号機は平成六年七月運転開始、2号機は平成十年七月の運転開始

を予定し、工事は発電所本体の基礎工事、冷却水の排水路工事など五工区に分けて行われ、総事業費は五千五百五十億円です。燃料の石炭は、海外炭を使用し、年間の使用量は1・2号機合わせ約四百五十万トン。相馬港の5号ふ頭から陸揚げし、貯炭場には、六十日分を蓄える計画です。また、石炭灰は、中核工業団地の埋め立て造成材、セメント混和材などにも活用されます。

### 電力は、東京・東北両電力に販売

また、新地発電所を建設する相馬共同火力発電株式会社は、脱石油資源の開発を目的に昭和五十六年、東北電力と東京電力が五十パーセントずつ出資して設立。五十八年に電源開発調整審議会で新地発電所1・2号機が承認され、五十九年に卸電気事業の認可を受けました。新地発電所で生産された電力は、出資会社の東北電力と東京電力に半々ずつ販売されます。

☎テレホンサービス☎ 1週間の行事予定などを毎日2分30秒でお知らせしています。 62-2111 (午後6時~午前8時)

# 町づくりの要に 新地発電所が着工

## 町づくりの実現のために

相馬地域総合開発計画の実現と、新地町の産業基盤の整備を進め町づくりの目標である「調和のとれた 活力ある住みよい町」の実現のために欠くことのできない中核施設として、長年誘致に努めてきた相馬共同火力発電株式会社・新地発電所第1号機新設工事が始まり、八月二日、起工式と起工祝賀会が行われました。

ら、地域振興整備公団が造成を進めてきた中核工業団地に建設される石炭を主要燃料とする火力発電所です。火力発電所としては、国内最大級の百万キロワット二基が計画され、今回着工したのはそのうちの第1号機です。相馬地域総合開発計画は、新地発電所の着工を機に大きく動き出しました。

## 長年の夢が実現



▲ 新地発電所1号機工事の安全を折りクワ入れる右から、重光相馬共同火力発電社長、木下東北電力副社長、宮原東京電力副社長

八月二日、中核工業団地の建設予定地で行われた新地発電所第1号機の起工式では、重光相馬共同火力発電社長、木下東北電力副社長、宮原東京電力副社長が、クワ入れを行い工事の安全を祈りました。また、起工式の後、相馬市内の会場で開催された祝賀会では、はじめに重光相

馬共同火力発電社長が「脱石油電源の一翼を担う責任をかみしめ、相馬地域の発展のために力を尽くしたい」とあいさつ。荒町長は「長年の夢が実現し、相馬地方は飛躍の時代を迎えようとしています。地域開発のためにこれまで流してきた多くの人の汗に感謝し、その献身的な努力に報いるためにも、新地発電所の着工を機に、だれもが住んでよかった、住んでみたいと思うような町づくりをすることが大切」と祝辞を述べました。続いて、伊藤町議会議長の音頭で乾杯し、出席者たちは新地発電所の着工と地域振興の夢を語り合っていました。

## 環境保全も万全に 3月に公害防止協定を締結

新地発電所の着工に先立ち、新地町・相馬市・福島県、それに相馬共同火力発電機四者によって、公害防止協定が今年の3月26日に結ばれています。

公害防止協定の概要は5月号でお知らせしたとおり、大気汚染の原因となるばいじん対策では、全国の石炭火力発電所の中で最も厳しい内容とし、さらに発電所の公害防止対策の実施状況を県や町の職員が立ち入り調査することができるようにするなど、地域住民の健康と生活環境の保全に万全を期しています。

### 電源立地促進対策交付金事業

### 道路整備をメインに

今年度、新地町では新地発電所1号機にかかる電源立地促進対策交付金事業として、道路整備事業をメインに、一般廃棄物処理施設事業、消防施設整備事業、町民グラウンド夜間照明設置工事に、約三億四千四百万円を計上。遂次、事業が進められています。1号機にかかる電源立地促進対策交付金事業は、平成六年まで続けられ、事業費の総額は約十八億一千三百万円です。

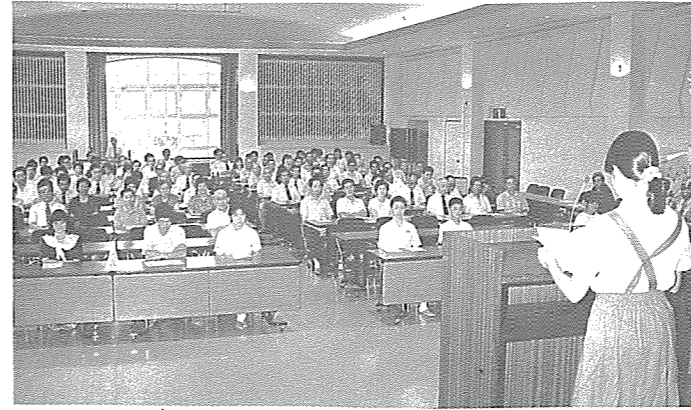
町の行政機関は(一部を除いて)第2・第4土曜日は休みです。

# 「全町民が親の心で」

## 青少年健全育成町民大会で再確認

新地町青少年健全育成町民大会の大会が、八月十九日、農村環境改善センターで開かれました。青少年問題についての共通認識を深めることを目的に毎年開かれていた大会では、はじめに荒和英町長が「全町民が、親の厳しさと思いやりの心で、青少年の健全育成を進めよう」と

あいさつ。続いて、子供たちによる意見発表と、各地区推進協議会の事例発表が行われました。意見発表では、まず、三宅幸恵さん(福田小六年)、水戸久美子さん(新地小六年)、後藤義正くん(駒ヶ嶺小六年)、長沢孝行くん(尚英中二年)が、それぞれの学校生活や、空き缶拾い、花壇作りなどの活動を紹介しながら、散乱ごみを出さないようにするにはどうしたらよいか、緑を守っていくにはどうしたらよいかなど、身近な環境問題についての考えを発表。次に、新地高校三年の阿部高津以さんが、新地高校家庭クラブがボランティア活動として十四年間続けている山元町の国立療養所宮城病院あすなろ病棟でのオムツたたみ、一人暮らし老人宅の訪問などを通して感じ



意見発表、事例発表などを通して、家庭、学校、そして地域の役割を考え、青少年健全育成大会を再確認しました。



▲新地高校家庭クラブのボランティア活動について発表する阿部高津以さん

たことなどを発表しました。事例発表では、門馬純子さん(埴浜)が八月に実施した埴浜地区の老人会と子供達の七夕会の様子を、岩佐栄一さん(岡)が標語募集、花いっぱい運動など三年間の岡地区の活動を、そして、菅野八重子さん(菅谷)は菅谷地区の例を取り上げながら、県推進委員の立場から地区をまとめていく場合の心構えなどを発表しました。また、福島県教育庁義務教育課主幹の佐藤利郎先生による「青少年健全育成と家庭・地域の役割」についての講演も行われ、最後に、青少年の健全育成のための活動を盛り込んだ大会宣言を採択。町ぐるみで、青少年の健全育成を推進していくことを再確認しました。

# 小・中学生が伊達市を訪問

## 離れた地域から新地町を見つめる

町内小・中学校の児童会・生徒会の代表が、ふるさと姉妹都市の北海道伊達市を訪問。伊達市の小・中学生と交流し、北海道の雄大な自然を見学しました。

をねらいに結成されました。訪問団は、八月二十二日に、



▲立待岬で記念撮影

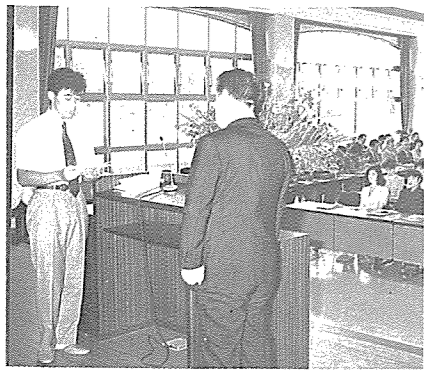
仙台空港を出発、千歳空港から札幌市内、昭和新山、洞爺湖などを見学。二日目の二十三日には、伊達市の小・中学生との交流会が行われました。交流会は、伊達市の長和中学校で小学生と中学生に別れて開催され、小学生は伊達市の三つの小学校児童会代表と、中学生は長和中学校生徒会代表と、各児童会・生徒会の活動状況、問題点などを話

## 町民の研修派遣 制度を活用

この町内小・中学校代表団による伊達市訪問は、ふるさと創生一億円をもとに積み立ててきた人づくり基金を活用して、今年の四月に創設された「町民の研修派遣制度」の第一号として実現しました。

町民の研修派遣制度は、おむね十三歳から五十歳までの町民が、三日以上の国内視察研修、技術開発・体験研修、民間企業への派遣などのほか、七日以上の海外視察研修を行う場合、旅費の三分の二以内の額(ただし国内は十万円、海外は六十万円が上限)を派遣費用として補助するというものです。研修内容や派遣者は、町の審査会の推薦に基づき、町長が決定しますが、従来の補助金制度と異なり、幅広い研修と年齢層を対象としているのが特徴です。

町では、今後もこの制度を活用し、明るく、活動的な地域リーダーの育成に努めていくことにしています。



▲答辞を述べる矢吹公範さん

平成二年度の成人式が、八月十五日、農村環境改善センター

# 成人おめでとう

## 十一人が決意や心構えをスピーチ

で開かれ、今年も百十八人が晴れて大人の仲間入りをしました。式では、荒和英町長の式辞に続き、伊藤十治郎町議会議長、小泉淑新地婦人会長、鈴木一光青年会長がそれぞれの立場から新成人を激励。矢吹公範さん(岡)の答辞につづき、二十才になった決意や心構えを一分二十秒で十一人がスピーチしました。

また、式典終了後の記念講演では、国際交流協力のクリス

トファバキムシャ(いわき市の企画課に勤務)さんが、日本とイギリスの習慣の違いなどを、ユーモアたっぷりに紹介しながら「平和な世界を築いていくためには、語学力よりも協調性に富み、心の純粋な人間が必要だ。思いやりやユーモアをもっていけば、ますます素晴らしい世界になることでしょう」と、国際交流の大切さを強調していました。

9月9日は「救急の日」

用件は正しく

あわてず 119番



## ●救急車を呼ぶときの3つのポイント

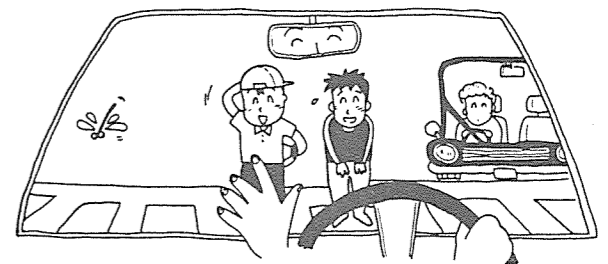
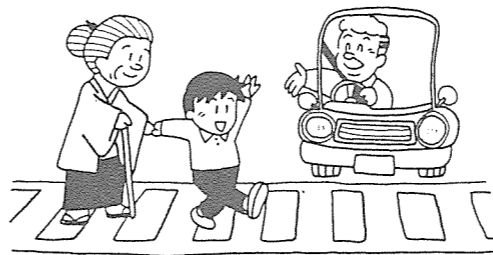
- 1 救急事故などの発生場所と近くの目標
- 2 どのようなケガか病気が
- 3 ケガ人や病人の現在の容態(簡単に)

愛情でつつんできびしく健全育成

# 秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

●高齢者の交通事故を防止しましょう



●交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践しましょう

高齢者交通安全旬間 9月11日～20日



- 公民館・勤労青少年ホームの  
**こよみ** 9月8日 ~10月6日
- 9月
- 8(土) 健康ダンス(午後7時30分 駒ヶ嶺公民館)  
今神健全育成映画会(午後7時30分 今神公会堂)
  - 11(火) 生花教室(午後7時 勤労青少年ホーム)
  - 12(水) 健康ダンス(午後7時30分 農村環境改善センター)  
子供読書会(午後3時 農村環境改善センター)
  - 13(木) 健康ダンス(午後7時30分 勤労青少年ホーム)
  - 14(金) 墨絵教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
  - 17(月) 茶道教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
  - 18(火) 手編教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
  - 19(水) 料理教室(午前9時30分 駒ヶ嶺公民館)  
生花教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
  - 20(木) 手編教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)  
生花教室(午後1時30分 農村環境改善センター)  
陶芸教室(午前10時 勤労青少年ホーム)
  - 23(日) 新地町・山元町親善剣道大会(午前8時30分 町民柔剣道場)
  - 25(火) 手編教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
  - 27(木) 婦人学級(午前8時 農村環境改善センター)
  - 28(金) 墨絵教室(午後1時30分 勤労青少年ホーム)
- 10月
- 1(月) 茶道教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)
  - 4(木) 手編教室(午後1時30分 駒ヶ嶺公民館)  
健康ダンス(午後7時30分 農村環境改善センター)
  - 5(金) 健康ダンス(午後7時30分 勤労青少年ホーム)
  - 6(土) 健康ダンス(午後7時30分 駒ヶ嶺公民館)



▲新地町バレーボール協会チームのみなさん

県民スポーツ大会・相双地域大会

バレーボール協会チームが優勝

鈴木旭さんに優秀指導者賞

ある町で、成人病予防のために「運動教室」が開かれ、五十才代の年配の人たちが集まりました。「まず歩こう」ということで一日十五分から三十分、歩数は三十分で約三千歩、カロリーは体重六十キログラムの人で約二百

百カロリー、それを週に三、四日ということで始めました。最初はなかなか実行できなかったようです。なぜかと聞いてみると「だつて恥ずかしくて、だから夜遅くしか歩けません」「歩いていると、私の車に乗れなくて乗せられてね。危いし怖いそうにみえるらしいよ」と、いう答えが返ってきました。「歩く」ことを実行に移すためにはみんなが歩くことの意味を理解し、歩く人が増えないとなかなかむずかしいようです。

日常の中で運動が必要なのは、成人病を予防するという大きな目的のほかにも、ストレスや肩こり、腰痛、疲れなどを解消してくれるからでもあります。それに、からだを使えば諸機能が活発になり健康が増進します。

か、新地町からは、九人制バレーボール、卓球、そしてバドミントンに出場。九人制バレーボールの部で新地町バレーボール協会チームがみごと優勝しました。

また、大会に先立ち行われた開会式の席上、新地小学校の野球部・ブルーハリケーンの監督として長年指導を続けている鈴木旭さん(岡)に、市町村体育協会相双地域連合会から、優秀指導者賞が贈られました。

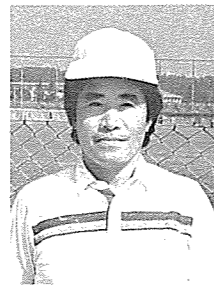


▲優勝したブルーハリケーン

県児童野球選手権大会では

ブルーハリケーン

ブルーハリケーンは、同じ日に、いわき市で開かれた県児童野球選手権大会の二部(小学校五年生以下)に優勝。鈴木監督は、二重の喜びとなりました。



優秀指導者賞を受賞した

鈴木旭さん(岡)

鈴木さんは、昭和五十三年、ブルーハリケーンの誕生と同時に監督となり、七度の県大会優勝、昨年の東北大会優勝などブルーハリケーンの輝かしい成績に貢献してきました。

優秀指導者賞を受賞して、「新地町は育成会がしっかりし、お父さんやお母さんがとても熱心なので、良い成績につながっていると思います。成績以上に、子供たちの礼儀を誉められたとかが何よりうれしい」という一方で、「かつては、ちょっと乱暴でも元気な子が必ずいたのに、最近は良い意味でのガキ大将がいなくなりました」とも。同級生社会といわれる中で、学年を越えてチームメイト全員が目標に向かって行くブルーハリケーン。「ここでの体験は、大きくなってきつと役にたつはず」と、墨田区少年野球連盟との交流会出発を、今月十六日にひかえ、準備に追われていました。

健康づくり地引き綱

力を合わせて、ヨイショ



健康づくり地引き綱大会が、8月12日、浜保育所東の海岸で行われ、参加者全員が力を合わせて綱を引き揚げました。

残念ながら獲物は少めでしたが、その後は砂浜ドッチボールなども行われ、夏の海を存分に楽しみました。

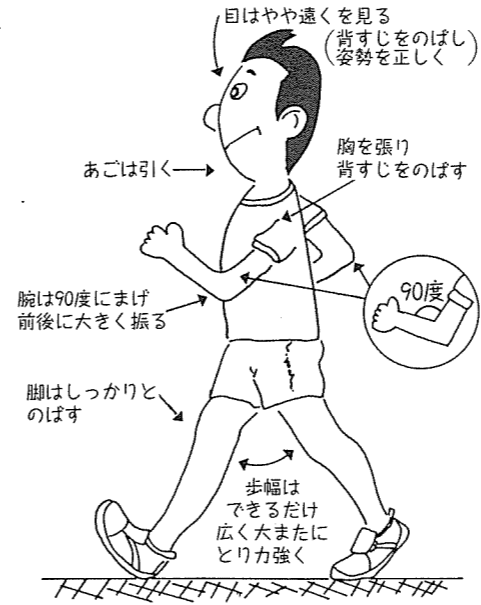
農村環境改善センター (62) 2085  
駒ヶ嶺公民館 (62) 3477  
勤労青少年ホーム (62) 3106

良い見本親が示せば子もまねる



自然の中を歩いてみよう

9月16日(日)は、自然の中を歩こう大会



●歩調はリズムカルに  
ふつうの速度は大時速3~4km  
運動効果を高めるためには時速5~6kmぐらい

「歩いていると、私の車に乗れなくて乗せられてね。危いし怖いそうにみえるらしいよ」と、いう答えが返ってきました。「歩く」ことを実行に移すためにはみんなが歩くことの意味を理解し、歩く人が増えないとなかなかむずかしいようです。

日常の中で運動が必要なのは、成人病を予防するという大きな目的のほかにも、ストレスや肩こり、腰痛、疲れなどを解消してくれるからでもあります。それに、からだを使えば諸機能が活発になり健康が増進します。

すが、使わなければ衰えてしまいます。からだはたえず動かしているこそ、本来の機能を発揮するのです。

運動を気軽に、無理なく実践する方法として「歩く」ことは最適です。みなさんも「歩いて」みませんか!

この教室に参加した方たちも二カ月位たつと、体重はあまり変わらなかつたのですが、血圧が下がり正常に近づき、スタミナ度をみる最大酸素摂取量も高まっています。そしてこんなことばも返ってきました。

「道ばたの草や木にどんな花が咲き、どんな実があるのか、それを見るのが楽しみになってねえ」

まず歩くことを実践し、歩くことの楽しさ、喜びを体で感じてみて下さい。

歩こう大会に  
参加しよう

自然の中を歩こう大会を九月十六日(日)に実施します。一人ではどうもという方は、仲間づくりをする絶好の機会でもあります。午前八時三十分まで駒ヶ嶺公民館に集合してください。「おらが町の史跡歩こうマップ」もできました。この機会に、歩くことを暮しの中にとり入れてはいかがですか。

むし歯予防六人に町長賞

九月中旬まで改善センターに展示

新地町国民健康保険のむし歯予防ぬり絵コンクールの入賞者が決まりました。

コンクールは、町内の保育所と小学校一、二年生を対象に、むし歯予防について楽しく考えてもらうことを目的に行われ、合計四百六十点の応募作品から、六名に町長賞が、十九名に国保賞が贈られました。

町長賞は次のとおりです。

なお、入賞作品は九月中旬まで農村環境改善センターに展示します。どうぞご覧ください。



▼作品を慎重に審査

町長賞  
かとうみちこ(福田小一年) かのきみえ(新地小一年) あべまき(駒ヶ嶺小二年) 猪狩義信(福田小二年) 加藤紋子(新地小二年) わたなべゆうき(駒ヶ嶺小一年)

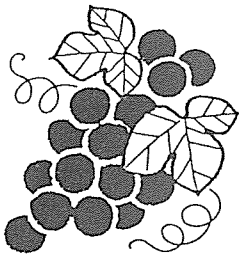
ご寄付  
ありがとうございます



●教育振興基金へ  
平和と民主主義を守る町民会議(三宅信一代表)より  
五万円

暖かき家庭の愛で子は育つ

消息



8月21日～9月20日 届出

出生 (届出は14日以内に) おめでとございます。(子供) (親) (地区)

- 龍 黒野 一則 岡
なつみ 阿部 好一 中 島
達彦 佐藤 武浩 明 地
斎藤 一宏 杉 目
鈴香 高野 眞二 小 川

死亡 (届出は7日以内に) おくやみ申し上げます。(死亡者) (年齢) (地区)

- 鈴木 傳 80才 沢 口
守屋 みん 67才 小 川
早川 貫一 87才 中 里
鈴木 常一 55才 中 島
佐久間高夫 78才 菅 谷
加藤ケサノ 86才 中 里

今月の納税等
国民健康保険税 第3期 9月分
水道料 第7、第15 行政区

- 20日 東北かんがい排水推進協議会陳情
19日 民会議大会
18日 新地町青少年健全育成町
15日 商工会盆踊り大会
14日 成人式
9日 相馬市訪問団壮行会
8日 沢口カラオケ大会、真弓盆踊り大会、明地盆踊り大会
7日 相馬市市民団親善ソフトボール大会
6日 相馬市町議会親善ソフトボール大会
3日 相馬市町議会親善ソフトボール大会
2日 相馬共同火力発電(株)新地発電所起工式、第二港湾建設局長との懇談会
1日 相馬共同火力発電(株)新地発電所起工式、第二港湾建設局長との懇談会

8月のもえないゴミ収集状況

もえないゴミは、地区ごとに毎月15日～17日(日曜日や祭りに関係なく)に収集しています。収集日の朝8時30分まで、指定の場所にルールを守って出しましょう。

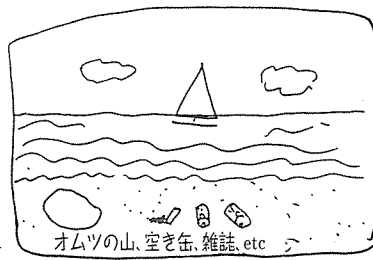
Table with 4 columns: Collection Area, Collection Location, Status (完全収集), and Unrecyclable Waste (収集できないゴミ). Rows include 15-day and 16-day collection areas with specific locations like 前前前 and 富倉公堂前.

(8月28日調べ)



迷惑な夏の忘れもの

夏も終り、海や山にも静けさが戻ってきましたが、楽しかった夏の思い出ばかりを持って、海や山に忘れてきたものはありますか。



保健環境課では、八月二十二日に大戸浜舞子浜海岸(約七百平方メートル)と鹿狼山登山口(約二百平方メートル)で、空き缶などの散乱ごみ調査を行いました。

その結果、空き缶四百個、空きビン三百個、それに紙オムツ、雑誌、残飯などが辺り一面に散らばっていました。

考えていかなければなりません。この美しい地球を、子孫に永遠に残す努力をみんなでしていきましょう。

乱していました。今、地球環境の悪化が大きく叫ばれています。地球の環境は、動物、植物、微生物、水、空気などの物からできており、この地球環境の一員として、私たち人間も生活しています。一人一人がもつと自覚し、環境の美化に務めるとともに、資源の有効活用を

町長日記

荒 和英

- 7月 相馬野馬追出陣式
23日 自治労県本部定期大会
25日 大倉大橋渡橋式、松ヶ房ダム調整審議会
27日 二世紀を開く相双サミット
28日 しんち小唄発表会
29日 いたて村づくり座談会
31日 8月 齊藤邦吉衆議院議員来町、地域振興整備公団総裁との懇談会
1日 相馬共同火力発電(株)新地発電所起工式、第二港湾建設局長との懇談会
2日 相馬市町議会親善ソフトボール大会
3日 相馬市町議会親善ソフトボール大会
6日 相馬市町議会親善ソフトボール大会
7日 県土地連理事會
8日 相馬市町議会親善ソフトボール大会
9日 相馬市町議会親善ソフトボール大会

あいさつで広がる人の輪地域の輪